

## 美ヶ原山行報告

【山行日】 2014年 7月 21(月) 曇り時々晴れ

【集 合】 岩舟町役場P AM 5:30

【費 用】 マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】 CL:鈴木、岩淵、大西、島田、島田ユ

【コースタイム】岩舟町役場 5:30＝美ヶ原高原美術館

P8:30～牛伏山 8:50～塩くれ場 9:30～

百曲り園地 9:45～烏帽子岩 10:00～王ヶ鼻 11:00/11:50

～王ヶ頭 12:20～塩くれ場 12:50～

美しの塔 13:10～美ヶ原高原美術館 P13:50/14:00＝岩

舟町役場 P17:35



当初の計画は尾瀬ヶ原の予定だったが、先月歩いていたので美ヶ原に変更した。

予定通り美ヶ原高原美術館に着き、トイレを済ませストレッチを行って出発する。

道路を少し戻った右側に、牛伏山への登山道入り口がある。整備された木の階段を登ると、平坦な木道を歩くようになる。高原美術館のオブジェを、無料で見ながら歩ける贅沢な登山道だ。

木道の両側にはハクサンフウロやテガタチドリ、ウツボグサ等の花が目を楽しませてくれる。山本小屋への

分岐を直進し、緩やかに登ると牛伏山の頂上に着く。頂上には方向指示盤があり、360度の眺望が楽しめるが、あいにく雲が多く北アルプスの山々は雲の中に隠れて見えなかった。

初めてのIさんは「こんな楽に山頂について、綺麗な景色を見られる山があるんですね？」と感動していた。分岐まで戻り、右に折れて牧場の柵の間の道を進み山本小屋へ降りる。降りたところに「山本小屋ふるさと館」あり、大きな駐車場や土産店、トイレもあるが、駐車場はすでに満車だった。

美しの塔を通り過ぎ、塩くれ場の分岐を直進して百曲り園地

へ向かう。百曲り園地から右に進み、アルプス展望コースへ入る。ここからは本格的な登山道となるが、起伏は緩やかで眺望が良い快適な登山道で高原逍遥を十二分に満喫できる。登山道から南



に付き出した烏帽子岩でコーヒブレイク。素晴らしい景色を楽しみながら、コーヒとカステラを戴く至福のひと時。王ヶ頭のテレビ中継塔を見上げながら、王ヶ鼻へ直進する。右側の斜面にはミヤマオダマキが群生し、電気柵が張り巡らされ保護されていた。王ヶ鼻は岩場が獣の鼻のように付き出した眺望抜群のピーク。すでに多くの登山者が休憩し、お弁当を広げてラ



ランチを楽しんでいた。我々も岩場の平らな場所を見つけて、昼食の準備にかかる。本日の山ごはんはカレーうどん。タマネギと豚肉たっぷりのカレーうどんは美味で大好評だった。北アルプスの眺望は得られなかったが、松本市街や霧ヶ峰、蓼科方面の眺望を楽しみながらゆったりと過ごし、本日の山頂王ヶ頭へ向かった。王ヶ頭には山頂の大きな石碑があり、少し先には御嶽神社が祀られている。少し進むと王ヶ頭ホテルがあり、有料トイレ

を使用して下山する。塩くれ場まで牧場の柵で仕切られた広い道をゆるやかに下って行く。

塩くれ場から左に進み、往路を戻ようになる。途中美しい塔に寄り、鐘を鳴らして記念写真を撮る。

美ヶ原と言えば「美しい塔」を思い浮かべるくらい定番の風景だ。のんびり休んでいる牛たちを見ながら山本小屋まで戻り、牛伏山への道を登り返して高原美術館へもどった。

Iさんいわく「急な登りもなく、こんな素晴らしい景色を楽しめる山は最高ですね。!!」と。

美ヶ原のコースは、以前登った「三城いこいの広場」から登りあげ、茶臼岳経由で戻る本格的なコースもあるが、今回のようなのんびり高原歩きを楽しむコースも良いものだった。

